

広報たまつくり

(毎月1回発行) 発行人町長 坂本常蔵 昭和38年1月23日第三種郵便物認可
印刷所 さんゆう社印刷 定価10円

人口と世帯数

49年1月1日現在
(単位・戸、人)
総人口 13,943人
男 6,824人
女 7,119人
世帯数 3,072戸

正 賀



静かな年明け

明るい
町づくり

あけましておめでとうございます。

輝しい一九七四年の新春を町民の皆様と共に祝いできましたことを衷心よりおろこび申し上げます。昨年は町の発展と福祉の向上に微力を傾注し、皆様方の特段の御協力により玉造町も一段と飛躍してまいりました。年頭にあたり厚く御礼と感謝を申し上げます。本年も皆様方のなお一層の御協力をお願い申し上げます。

事業の推進につきましては玉造町振興計画に基づきまして、昨年完成いたしました給食センターの運営を更に効率化するとともに、児童の体力の向上を期するため小学校屋内運動場、プールの建設、玉造中学校防音改造工事等教育施設の充実をはかつてまいります。農業振興につきましては、経営の基盤であるほ場整備を推進し農業経営の安定をはかり、農村の環境整備につきましては、田園都市建設事業の大型化というべき農村環境整備事業により環境の整備をすめたいと存じます。

産業発展の要素である道路の整備につきましては、集落から集落を結ぶ幹線道路の改良舗装も関係地区皆様方の協力により八十五割完成し、舗装工事につきましては本年も一万坪実施の計画であります。日常生活の向上をはかるべく水道事業につきましては、すでに完成了玉造中央区簡易水道、手賀共同給水組合、建設中の泉区と共に今後小座山地区、玉川区全域を含み広域的に推進したいと存じます。社会福祉充実のたまつくりは経済成長の谷間として指適されておりますが、国の施策にのっとり、更に福祉の向上につとめてまいります。明るい町づくりのため、本年も玉造町の発展に努力いたしますので、皆様方の冷静なる判断をお願い申しあげますと共に、なお一層の御支援と御協力を重ねてお願い申し上げまして年頭のあいさつといたします。



國体ガイド

行進組曲「魁」

軽快な行進曲にのって、カ

ラフルな各県役員選手団の入
場—茨城国体開会式のハイラ
イト・入場行進には、行進組
曲「魁」(さきがけ)が使わ
れます。

この「魁」は、茨城の民謡
常磐炭坑節・磯節・網のし唄
をとり入れたものを核とし、
全国各地の代表的民謡を素材
としたブロック単位の組曲形

・近畿)「せと」(中国・四
国)「さいかい」(九州・沖
縄)として「ひたち」(茨城)
という曲名がつけられていま
す。茨城国体の開会式の行進
は、北海道を先頭に北から南

地方税法

◎課税物件

土地の保有と土地の取得で
一部改正

によって新しく特別土
地保有税が設定されま
したので、その内容を

簡単にお知り(取得分)
(保有分)

税額の計算

◎納稅義務者

土地の保有については昭和
四十四年一月一日以後に取
得された土地、昭和四十八年
七月一日以後の土地の取得に
ついて有償、無償を問わず課
税されます。

◎課税標準

土地の取得価額、売買した
土地にあってはその売買の金
額、売買の手数料、その他売

▼にせ税理士

注意!!

生活の合理化を考える

鹿行地区・研究集会



研究集会風景

児童手当――支給対象となる児童の範囲が広がります――

去る十二月十四日、玉造中央公民館で鹿島、行方郡婦人連絡会が主催した「生活の合理化を考える研究集会」が開かれました。

最近の社会、経済の変動による日常の家庭、社会生活への深刻な問題に対し、家庭生활の中心となつて活躍している主婦による研究集会を開催し、当面する諸問題に対処す

盛會な集会もようでした。

の児童のうちに、義務教育終

る生活態度を養おうといふもとに行われたものです。当日の参考者は三百名余り、午前中「ムダをはぶく生活の知恵について」「環境美化運動の実践について」の二テーマで各二名ずつの実践発表が行われ、午後は茨城県消

費生活センター・コンサルタン

ト渡辺澄子先生の講話をあり

り、午前中「ムダをはぶく生

雁がねやゆくかた冥き岸の辺の母の葦こそ宵は思ゆれ
空の下そして土の上頭骸骨は肉体全体のなかに溶け込みはじめた
この稻が穂孕む頃は涸れて居し川あぶれ行く秋の落ち水

逆光の中に飛び交う椋鳥の孤を画く翼輝きており
暮れなづむ庭の落葉を掃き集め焼く大みだして桺の実爆ぜぬ

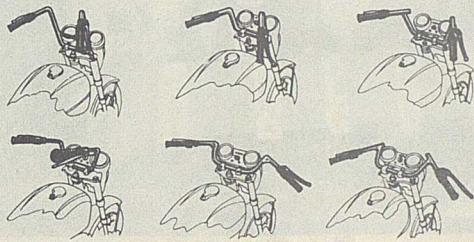
孫連れて朝々通ふ散歩道田毎いろつく柿の実数ふ
幾歳月咲きつぎにけむ老梅のみおや禰ふる頌徳碑

短

歌

二輪車の変形ハンドルは法令で
使用が禁止されています

1. 罰 則…3カ月以下の懲役又は3万円以下
以下の罰金
 2. 違反点数…2点
 3. 反則金…5,000円
 4. 変形ハンドルの例



木老人クラブ」では、若同地区内のバス停（若常・沼田・捻木）に金あみ製（円筒）のくづ籠四個を、それぞれ分散して寄付されました。一日も欠かすことのできない「ごみ」の問題に協力の意を注いでくれたものです。

善意

誕生おめでとう
ございます

出產と死亡

○ 第二十一回 全国青年の主張

させられます。今年成人となつたみなさん一歩外に出ればあなたはもう大人です。成人为しての自覚を持つて下さい

あとがま

皆鈴久幡滝
保
藤木田谷崎
政弥つし恒
名
嗣平るか康

羽荒內沖上部
生宿宿洲宿落

小笛山菅栗野坂塚甲遠中茂本鈴大和原飯
野 赤ちや
口目崎谷股原本本 藤村木宮木森田田田
晃雅一秀 奈智喜良典克明栄朝惣惠幸美ん
緒 理
代隆宙義洋美也徳次子子美美海一子恵保
和芳耿秀孝喜克辰正と新真秀啓一通 俊保
二 美 し 正
子正郎一義子百夫治江衛一一宇夫義 彦者

長長長長長長二長二長二二長長長長長長繞
女男里男男女女男男女女女女女女女女女柄